

認知症になっても 住み慣れた地域で暮らせるまち・くわな

桑名市
イメージキャラクター
「ゆめ はまちゃん」



平成27年7月4日（土）
桑名市中央地域包括支援センター

「本物力こそ、桑名力。」

旧東海道伊勢国一の鳥居
「七里の渡跡」



「その手は桑名の焼き蛤」



「なばなの里」



全国アミューズメントパーク
入場者数第3位
「ナガシマリゾート」



旧東海道42番目の
宿場町桑名の銘菓
「安永餅」



全国で3路線のみのナローゲージ
「北勢線」

本物力こそ桑名力



鹿鳴館で有名な
コンドルの設計による
山林王・諸戸家の邸宅
「六華苑」



お伊勢参らばお多度もかけよ、
お多度かけねば片参り
「多度大社」



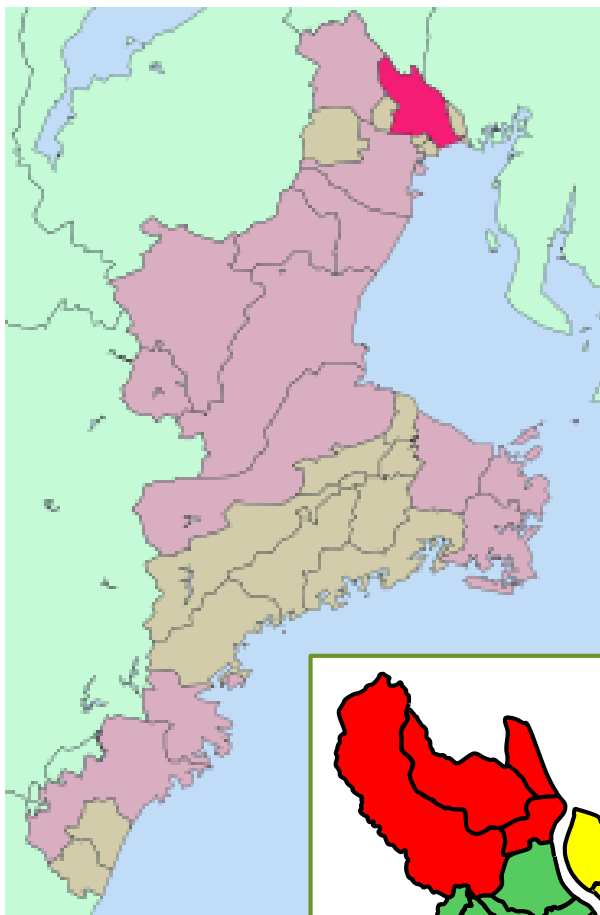
人馬一体となって
絶壁を駆け上がる
「多度上げ馬神事」



日本一やかましい祭
「桑名 石取祭」



桑名市の概要



人口 142,544人

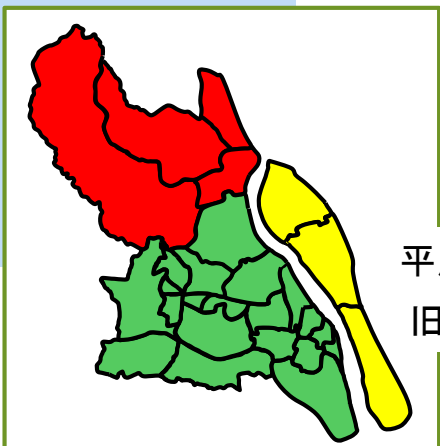
65歳以上人口 34,429人

高齢化率 24.2%

地域包括支援センター設置数 6か所

(直営1、社会福祉協議会2、医療法人2、社会福祉法人1)

平成27年3月末現在



平成16年12月に

旧 桑名市・多度町・長島町が合併

高齢化率は地域差あり！
一番低い地区は6.3%
一番高い地区は48.2%

桑名市の「認知症施策推進事業」

認知症ケアに関する 地域住民に対する普及啓発

- 「認知症市民公開講座」の開催
- 「オレンジカフェ」の開催
- 「介護・医療連携推進会議」
又は「運営推進会議」の活用

認知症ケアに関する 地域資源の「見える化」

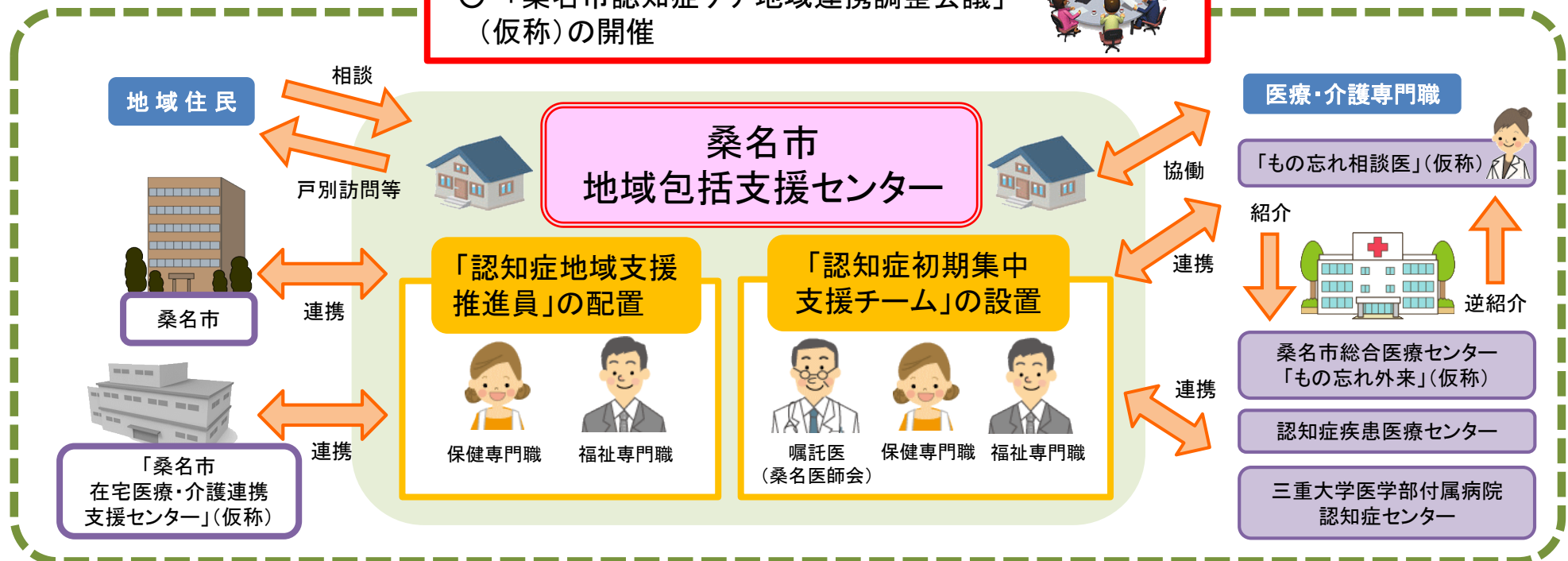
- 地域で標準的な認知症ケアの流れを
日常生活圏域ごとに明らかにする
「くわな認知症安心ナビ(認知症ケアパ
ス)」の公表

認知症ケアに関する 医療・介護専門職に対する研修

- 「認知症専門職講演会」の開催
- 「認知症ケア多職種協働研修会」
の開催

認知症ケアに関する地域連携

- 「桑名市認知症ケア地域連携調整会議」
(仮称)の開催



認知症地域支援推進員

桑名市での認知症地域支援推進員の役割

- ① 認知症の人の状態に応じた適切な支援に向けてのネットワークづくり
- ② 啓発や研修等を通じた、地域の認知症対応力の向上の推進



平成26年度に推進員研修を修了した
5人の認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員

今年度の取り組み

「地域支援推進員の会」を定期開催
今年度の推進員研修受講予定者も含め、隔月開催

認知症ケア多職種協働研修会の企画

徘徊模擬訓練の実施に向けての検討 など

H27.5.19 第1回「地域支援推進員の会」

推進員は
各地域包括支援センターに配置
(おおむね2名ずつ)



認知症ケアパスの作成

認知症の状態に応じてどのようなサービスを利用することが可能であるかについて、地域資源の「見える化」を図るもの。



ワーキングチームによるケアパス作成の様子

[illegible]

平成27年3月末に完成。
「ケアパスという言葉はわかりにくいから、
親しみやすい名前にしたらどうだろう」という市長の提案で
『くわな認知症安心ナビ』というタイトルになりました。

認知症ケアパスの作成

認知症ケアパスの一環として、「認知症サポート医養成研修」又は「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を修了した医師など、認知症に関する相談に対応する医師（「もの忘れ相談医」）についてのリストもあわせて作成

もの忘れ相談医リスト
～認知症の相談ができる医療機関～

	医療機関名	医師名	住所	電話番号	サポート医	かかりつけ医
1	桑名病院	竹村 茂之	京橋30	22-0460	○	
2	長島中央病院	安井のり子	長島町福吉271	45-0555	○	○
3	坂井博クリニック	廣田 久佳	豊川1011-1	31-4553		○
4	多度あやめ病院	平田 春夫	多度町榎井1702	48-2171		
5	浜島外科	浜島 望	江湾20	21-3381	○	
6	いとう医院	伊藤 吉郎	中山町40	31-2022		
		伊藤 寿朗				
7	伊藤内科クリニック	伊藤 勉	赤尾1344-3	31-4080	○	
8	ウェルネス医療クリニック	多胡 光孝	新西方3丁目218番	24-6914	○	○
		多胡恵理子			○	
9	小沢医院	小澤 博毅	長島町又木市街2-1	42-3337		
10	落合内科	落合 敏弘	西方1583-1	23-6622		
		落合 裕美				
11	久藤クリニック	久藤 弘	東方字打上田232	22-0800	○	○
		菅原 孝之				○
12	桑名クリニック	岡本 浩一	長島町横瀬573 バイサイド1F	45-8111		
		小坂穂男子				
13	小坂医院	小坂 徹仁	長島町押付525-6	42-0014		
14	しばはらメンタルクリニック	柴原 清与	福島748 AAビル3F	27-1000		○
15	すがいクリニック	菅井 博哉	中央町1丁目17 (GTビル2F)	22-1550	○	○
16	田中クリニック	田中 孝幸	青葉町1丁目13番	27-7800	○	○
17	辻クリニック	辻 理	明正通2丁目464	27-6111	○	

9

	医療機関名	医師名	住所	電話番号	サポート医	かかりつけ医
18	永田内科医院	永田 俊彌	西別所1200-312	23-0855		
19	ひがし胃腸科外科	東 俊策	藤が丘9丁目109	24-8777	○	
20	ふくいゆクリニック	福井 康治	北別所1841-1	87-5071		
21	古田医院	古田 純一	大仲新田屋敷327-2	31-8555		
22	松原クリニック	松原 究	桑名町2 (盛栄メイト3階)	21-0366		
23	メディカルオフィス・くわな	谷本 功	鶴だまの丘7丁目1510	33-1616		○
24	森医院	森 亮夫	成徳町1625-12	24-0876		
25	山屋内科	山屋 匠史	多度町小山1875	48-2100		

認知症サポート医とは

認知症の診療に専門し、かかりつけ医への助言その他支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師

認知症かかりつけ医とは

適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話を聞き姿勢を習得するための研修を修了した医師

桑名市総合医療センターの「もの忘れ外来」、「もの忘れの診断・検査」について

	桑名東医療センター	桑名西医療センター	桑名南医療センター
診療場所	神経内科外来	脳神経外科外来	内科外来
専門外来 (名称)	もの忘れ外来	通常の外来診療の範囲内で認知症(もの忘れ)の診断・検査を実施	もの忘れ外来
診療日 時間	毎週水曜日 午前9時～正午	毎週月・水～金曜日 (診療受付時間 午前8時30分～11時30分)	毎月第3木曜日 午前9時～正午 午後1時～午後3時
担当医	三重大学医学部付属病院 神経内科 助教 木田 博隆	脳神経外科部長 村松 正俊	示野大学東南アジア研究所 藤澤 道子
備考	原則予約診療/医師からの紹介患者 その他の治療(フォローアップ)は認知症サポート医に紹介	原則予約診療/医師からの紹介患者 その他の治療(フォローアップ)は認知症サポート医に紹介	予約診療/非紹介でも受診可

10

随時、内容を更新していく予定。
(7月1日に少しリニューアルしました)

桑名市ホームページに掲載してあります。
興味のある方は、ご覧ください。

くわな認知症安心ナビ

検索

認知症ケア多職種協働研修会

平成22年から「認知症の事例を通して連携を考える研修会」
として開催（2回／年）

認知症ケアに携わる様々な専門職が参加

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師
社会福祉士・介護支援専門員・介護福祉士など

今年度から、認知症地域支援推進員が研修内容を企画



H27.6.18 認知症ケア多職種協働研修会

73名が参加。

9グループに分かれて、徘徊高齢者の事例について

①これまでに経験した徘徊のケースについて

②この事例に対してどんな支援ができるのか

…の2点を話し合いました。



認知症ケア多職種協働研修会

参加された皆さんの声（アンケートより）

先生もいたので良かった。
普段、医師と直接かかわることも少ないが、今日は薬など説明が聞けた。
（介護支援専門員）

今までの自分の視点と違う見方を教えてもらいました。
（施設管理者）

現場の方の意見が聞けて良かったです。
（地域包括支援センター職員）

日々の支援の中でつまづくポイントはそれぞれ似ていることが共有でき、明日の支援への活力をいただきました。
（介護支援専門員）

在宅で頑張る意気込みがすごい。（医師）

**医師からの発案で、
研修会後に交流会を開催！**



ざっくばらんに話せて、「顔の見える関係」がより深まりました。

認知症初期集中支援チーム

平成27年4月、各地域包括支援センター（中央を除く5か所）にチームを設置

《これまでのケア》

認知症の人が行動・心理症状等により「危機」が発生してからの「事後的な対応」が主眼。



《今後目指すべきケア》

「危機」の発生を防ぐ「早期・事前的な対応」に基本を置く。



H27.5.13

認知症初期集中支援チーム打ち合わせ

認知症初期集中支援チーム

平成27年4月1日に、各地域包括支援センター(中央を除く5か所)に設置

- チーム員
各地域包括支援センターの保健専門職1名、福祉専門職1名
および桑名医師会から推薦された嘱託医1名の計3名
- 訪問支援対象者の把握
桑名市日常生活圏域ニーズ調査「いきいき・くわな」に基づくデータを活用し、
医療サービス、介護サービスを受けていない方で支援が必要な方を発掘する。
- 情報収集及び観察・評価
本人、家族の状況等の情報収集およびDASK等を用いたアセスメントを行う。
- チーム員会議
おおむね月1回開催。訪問支援を行ったケースの
支援方針、支援内容、支援頻度等を検討する。
- 引き継ぎ後のモニタリング
医療機関、介護サービスにつながった後の様子を
確認する。

H27.6.4
チーム員会議の様子



オレンジカフェ（認知症カフェ）

認知症の方やご家族、地域住民、専門職などの誰もが参加でき、集う場

平成27年度より、各地域包括支援センターに委託して実施。（年間30回程度）

開催場所は、介護保険事業所の空きスペースや、公共施設、寺院など。



その他の取り組み①

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解してもらうための講座。

色々な場所で色々な人を対象に開催

- ・ 公民館などで地域の住民さん向け
- ・ 消防団からの依頼を受けて
- ・ 市役所の職員向け
- ・ 小中学校で児童・生徒向け
- ・ ショッピングセンターの職員向け

今年度から、「桑名ふれあいトーク」として、10人ぐらいのグループに対して出前講座でサポーター養成講座を実施

平成18年度からこれまでに
201回開催。
養成したサポーターは7632人！

(H27年6月20日 現在)



中学校での講座
教員による寸劇を交えて、生徒も盛り上がりました。



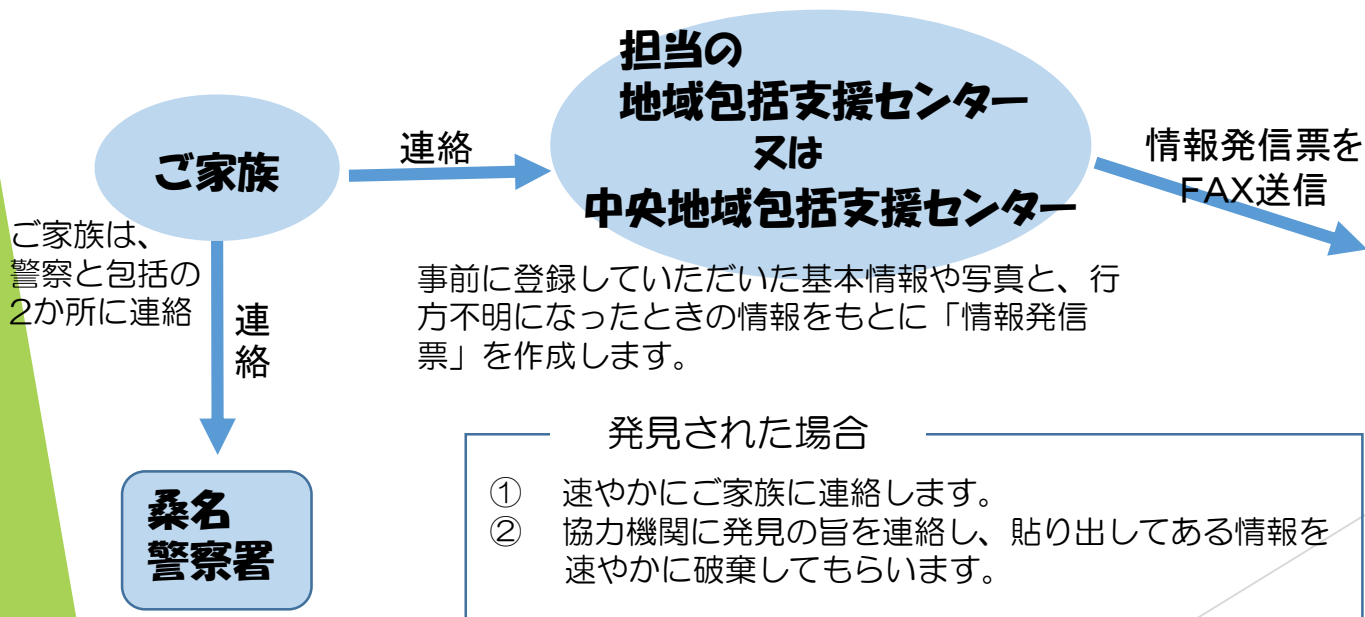
女性消防団から依頼を受けて講座を実施。
講座を聞きに来られた男性の消防団からも、「うちの団でもやって」と言っていたき、サポーターの輪が広がります。

その他の取り組み②

徘徊 SOS 緊急ネットワーク事業

外出したまま家に戻れなくなるなど、所在不明となった高齢者を、地域包括支援センターを中心に、警察やネットワーク登録事業所と連携して情報を共有し、早期に発見するためのシステム。

事前に氏名や生年月日等の基本的な事項と写真を登録しておく、行方不明になったときには、スムーズに検索を開始できます。



情報発信票		
次の高齢者の発見についての協力を 依頼・解除 します		
社員への周知: 可・不可		店内貼りだし: 可・不可
フリガナ		(写真)
氏 名	(旧姓:) (性別: 男・女)	
生年月日	昭和 年 月 日	
年 齢	歳	
身 長	cm	
体 重	kg	
特徴・服装等		
不明時の状況(日時・場所等)		
発見時の状況(日時・場所等)		
連絡先 ○○地域包括支援センター 0594-○○-△△ 中央地域包括支援センター 0594-24-5104 桑名警察署 生活安全課 0594-24-0110		

協力機関
申請のあった企業や
介護保険サービス事業所
近隣市町

協力機関等では、店舗内を確認したり、外勤の職員が周囲を確認します。また、店舗等に行方不明者の写真等の情報が貼り出されます。

その他の取り組み②

徘徊 SOS 緊急ネットワーク事業

SOS ネットワークで行方不明になった方が発見された事例

徘徊が見られるようになってきたAさん。担当ケアマネの勧めでSOSネットワークに登録していた。ある日、Aさんの行方がわからなくなったため、ご家族が警察と担当包括に連絡。『情報発信票』が、各協力機関にFAXされた。

ちょうどそのころ、とあるデイサービスセンターの職員Bさんは、送迎の車を運転しているときに、1人の高齢者が歩いているのを見かけていた。「見慣れない高齢者が一人で歩いているな。なんだか様子がおかしいな」と思ったBさん。

ほどなくして送迎が終わり、デイサービスセンターに帰ると、先ほど見かけた高齢者についてのFAXが届いていたため、急いでAさんを見かけた辺りへ行き、Aさんは無事に発見され、自宅へ帰った。

認知症のCさん。妻と自転車に乗って床屋へ向かっていた。床屋に到着した妻が振り返ると、後ろからついてきていたはずの夫がいなかった。

妻が警察と包括に連絡し、SOSネットワークでの搜索を開始。

一方Cさんは、とある薬局に入って「この近所の△△という床屋に行きたいが、どこにあるだろうか？」と尋ねていた。薬局では「△△という床屋」はわからなかったが、Cさんの様子が気がかりで保護してくれた。

その後、保護しているCさんが行方不明になっている高齢者だと判明し、Cさんは妻のもとに帰った。なお、Cさんが言った「△△」は、その床屋の以前の名前だった。

その他の取り組み③

権利擁護・成年後見関係の取り組み

日常生活自立支援事業

福祉サービス利用のお手伝いや日常的なお金の管理のお手伝い、大切な書類を預かる事業。
(社会福祉協議会の事業)

司法書士による成年後見制度相談

月1回実施 1ケースあたり1時間程度、無料で相談ができる。地域包括支援センター職員が同席。

福祉後見サポートセンター

成年後見制度、権利擁護に関する支援や情報提供のための窓口。
社会福祉協議会に委託して、7月1日から開設。

法人後見

H26年度に、社会福祉協議会に法人後見運営委員会を設置し、法人後見受任を開始。(現在2件)

市民後見人養成事業

多様な受け手を養成すべく、今年度から開始。

法福連携

後見を受任している弁護士、司法書士、行政書士、税理士などと緊密なネットワークを構築。
平成23年度から実施。



H27.6.12 平成27年度第1回桑名市「法福連携」懇談会

その他の取り組み④

個別ケースの相談・支援

例) 81歳 女性 独居 要介護1 アルツハイマー型認知症 生活保護受給

- ・ 訪問介護を毎日利用中。しょっちゅう出かけるため、ヘルパーが本人に会えない事が多い。
- ・ 金銭管理等が出来なくなってきたため、3か月前に後見人がついた。
- ・ 2か月前に徘徊SOSネットワークに登録。
- ・ 最近、お金（受給した生活保護費）がなくなるのがとても速い。（騙されて盗られていないかという心配がある）



「近所の人に見守られながら在宅生活を続けていけるように、ケア会議を開催してほしいので、関係者を集めてほしい」と後見人と介護支援専門員から包括に依頼



地域支援調整会議

出席者：担当地区の包括、中央包括、介護支援専門員、後見人、ヘルパー
民生委員、自治会長、生活支援コーディネーター（社会福祉協議会）
市役所の生活保護担当など

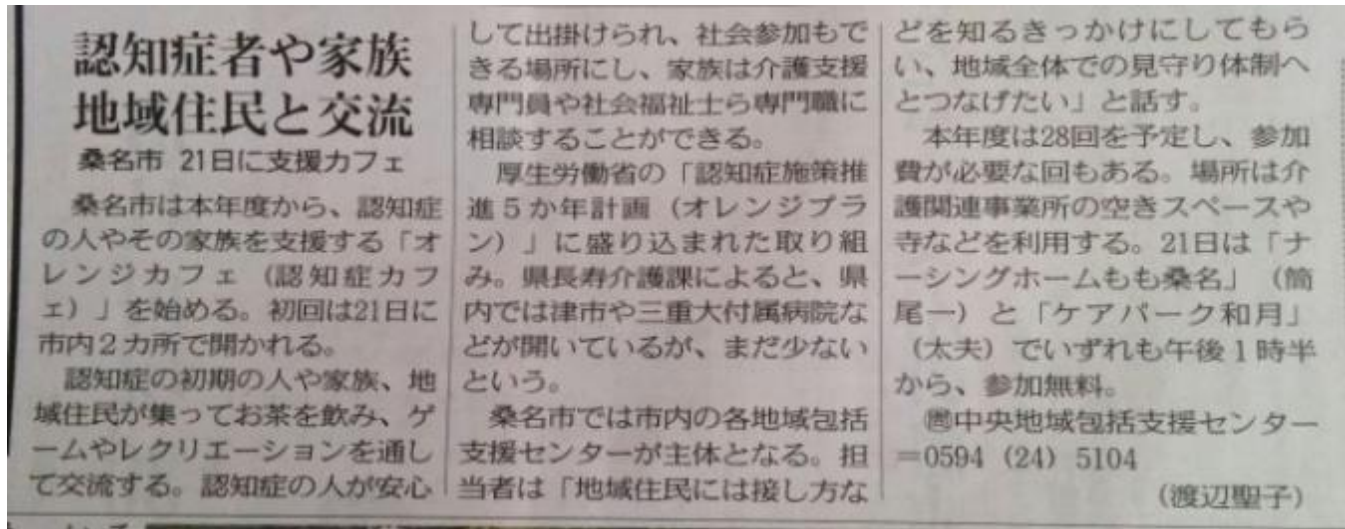
出席者が持っている情報を出し合い、支援方針を考えました。

（※お金がなくなるのが速かったのは、毎日ファストフード店に行っていたため）



色々な取り組みを 「見える化」してます！

新聞に
掲載されました



オレンジカフェ
（認知症カフェ）

くわな認知症あんしんナビ
（認知症ケアパス）

桑名市ホームページで情報を公開してます



トップ画面のこのアイコンからお入りください



医療機関と地域はつながっています

この人、退院した後、
家での生活は大丈夫かなあ？



入院中に認知症がひどくなってるけど
ケアマネさんもついてないみたい

**こんな場合は、
地域包括支援センターにご連絡ください！**

患者さんは、退院すれば地域の住民さんです。私たちは、ご本人への支援はもちろん、地域の様々な関係機関と連携しながら、認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるような取り組みをしています。

5月21日

桑名市在宅医療介護連携支援センターがオープンしました！

桑名市の住民さんが市外の病院から退院される際、
「この人の担当の包括はどこ？」、「自宅近くのクリニックで
対応してくれる先生はいるかしら？」など、
お気軽にお問い合わせください。



ご清聴ありがとうございました